

## 中学生ワークショップ実施結果について

開催日時	2026年1月28日(水) 14:30~16:00
開催場所	尾鷲市立尾鷲中学校
参加者	尾鷲中学校 4名(1年~3年) 輪内中学校 4名(1年~3年)
テーマ	尾鷲ヒノキを活用して尾鷲市を盛り上げる
ワークショップの目的	第7次尾鷲市総合計画後期基本計画策定に際し、テーマを絞って、若い世代(中学生)が持つ尾鷲市の将来イメージや尾鷲市への期待を話し合ってもらい、尾鷲市に対する愛着を高めてもらい、まちづくりへの参画意識を高めてもらう。

## 1. タイムスケジュール

時 間	内 容
14:00	<p>■オリエンテーション            企画主旨説明、自己紹介、アイスブレイク            「私の将来の夢」            ※尾鷲市の将来イメージを考える前に、自分自身の将来についてイメージを膨らませる。            まず自分自身が将来をどのようにイメージしているかを考え、その中に尾鷲市がどのように関与するのかが問われることについて認識を持ってもらう。</p>
14:20	<p>■総合計画について（どのような計画か）            ・総合計画で目指す尾鷲市の将来像            ※前期計画において進めてきた施策や実績等を主な分野において簡単に説明。</p>
14:30	<p>■ワーク1            「ヒノキの一生のものがたりをつくろう」            ※植林され、成長とともに下枝を払ったり、間伐したりする。数十年を経て成長したヒノキは切り出され、材木となる。それまでのさまざまなエピソードを想像し、さらに材木として建築物に使われ、その後百年～数百年建物としての命をつなぐことに想いを馳せる。どんな建物になるのか、その建物でどんな人々を見守るのか、ヒノキはどんな思いを持つのか、中学生なりに尾鷲ヒノキの一生の物語をつくる。            ※模造紙にイラストや文章で書く</p>
14:50	<p>■発表&amp;質疑応答            各チームに発表してもらう。            発表以外のチームから質問や感想を聞き、発表チームが答える。</p>
15:10	<p>■ワーク2            「尾鷲ヒノキや自然を、自分の住む地域・尾鷲市をどんなふうに大切にするか」            ※どんな建物にも、どんな地域にもそこにしかない物語があることを意識し、自分の未来を大切にすることと、地域や尾鷲市を大切にすることがつながっていることを意識する。</p>
15:20	<p>■まとめ            全体のまとめと振り返り            ※地域課題を解決する、にぎやかなまちにする、人を呼ぶというのはすべてその地域がどれだけ愛されているか、にかかっている。尾鷲市の将来イメージのなかでこれだけ多くの中学生が「ヒノキ」を挙げているのは、尾鷲＝ヒノキがそれだけ愛されているということである。その尾鷲愛、ヒノキ愛を共有し、ますます尾鷲ヒノキが多くの人に愛されるようなことにつながられるようそれぞれがんばろうというメッセージを伝える。</p>

ヒノキの一生のものがたりをつくろう！





## 輪内中の作品

尾鷲ヒノキが伐採後、製材され木材として流通し、小学校の机として生徒本人に組み立てられ、6年間大切に使われ、生徒の成長を見守る。卒業後は新入生に受け継がれている。また、学校行事で植林を行い、森林の保護、再生等の活動もすることを説明した。



### (3) まとめワーク

「尾鷲ヒノキや自然を、自分の住む地域・尾鷲市をどのように大切にしますか？」

⇒個人で考え、付箋に記入して模造紙に貼った。

林業や伝統を守りたい、地産地消、尾鷲ヒノキをPRしたい（産業として活性化）、植樹などで「自分の樹」を持てるようにしたい（樹木への愛着）、ごみのポイ捨てをしない、清掃活動をしたい（環境保護）、ヒノキ製品を大切にしたい（木を使った暮らしへの愛着）、ふるさとキャリア学習などでさらに学習したい（学びの場）

それぞれ見ている場所、関心ごとは異なるが、いずれも尾鷲ヒノキの可能性を非常に高く感じ、それを活かしていこうとする意識が感じられた。

### 3. 総括

中学生らしく、教育（幼児教育）や学校（机）において尾鷲ヒノキを使うアイデアを出してもらった。そのなかで尾鷲ヒノキが多くの関係者によって大切に守られ、活用されていることに改めて気づき、地域の特色を活かしていくことが自分たちの暮らしや将来に関わっている意識を高めることが出来た。

また、総合計画について知り、尾鷲市の将来について多くの市民と一緒に考えていることを知った。

